

東金病院、佐原病院の収支見通し

千葉県病院局

平成18年度東金病院と他病院の決算比較及び平成19年度決算見込み

18年度決算

19年度決算見込み

収益的収支		東金病院 許可病床数191床 運用病床数18年度110床 70床(11/1) 19年度70床 80床(9/1) 60床(3/25)					
		191床(93.5床) 東金病院	100床 国保大網病院	98床 国保国吉病院	170床 小見川総合病院	100~199床(平均119.6) 全国221病院平均	100~199床 全国99医療法人平均
収益	医業収益	1,636,647	1,559,169	1,522,946	2,507,912	1,762,517	2,276,916
	入院収益	879,303	960,618	766,875	1,539,323	1,024,416	1,469,119
	外来収益	743,468	497,953	615,984	788,764	618,939	635,179
	その他医業収益	13,876	100,598	140,087	179,825	119,162	172,876
	医業外収益	510,773	77,262	665,683	224,826	249,529	50,134
	一般会計繰入金	499,570	62,380	220,384	184,155	193,283	
	その他医業外収益	11,203	14,882	445,299	40,671	56,246	50,134
	特別利益	0	0	0	0	45,123	21,750
収益計	2,147,420	1,636,431	2,188,629	2,732,738	2,057,169	2,348,800	
費用	医業費用	2,728,408	1,816,284	1,704,969	2,866,229	2,015,637	2,223,814
	給与費	1,410,252	839,506	901,195	1,611,709	992,449	1,159,739
	材料費	412,205	369,725	327,324	760,999	387,203	530,477
	経費	737,369	356,242	393,862	361,766	482,317	396,067
	減価償却費	163,229	120,416	80,822	125,344	142,618	82,112
	その他医業費用	5,353	130,395	1,766	6,411	11,049	62,779
	医業外費用	104,254	106,009	492,508	194,981	142,579	38,232
	支払利息	25,942	65,195	1,015	48,562	63,749	25,095
	その他医業外費用	78,312	40,814	491,493	146,419	78,831	13,137
	特別損失	0	0	0	0	0	39,275
費用計	2,832,662	1,922,293	2,197,477	3,061,210	2,158,216	2,301,321	
医業収支	1,091,761	257,115	182,023	358,317	253,120	53,102	
経常収支	685,242	285,862	8,848	328,472	146,170	65,125	
総収支	685,242	285,862	8,848	328,472	101,047	47,526	

収益的収支		東金病院
		平成19年度 決算見込(税抜き)
収益	医業収益	1,673,087
	入院収益	903,867
	外来収益	756,808
	その他医業収益	12,412
	医業外収益	494,397
	一般会計繰入金	476,261
	その他医業外収益	18,136
	特別利益	0
収益計	2,167,484	
費用	医業費用	2,471,019
	給与費	1,287,859
	材料費	411,498
	経費	609,466
	減価償却費	154,443
	その他医業費用	7,753
	医業外費用	107,536
	支払利息	22,374
その他医業外費用	85,162	
特別損失	0	
費用計	2,578,555	
医業収支	797,932	
経常収支	411,071	
総収支	411,071	

退職手当: 69,328千円

一般会計繰入金について、比較病院等には医業収益のその他医業収益に振り分けられているものがある。

注1 国保国吉病院は、老人保健施設の収支が、その他医業外収益、その他医業外費用に計上されている。

注2 小見川総合病院は、看護学校の収支が、その他医業外収益、その他医業外費用に計上されている。

東金病院退職手当: 82,978千円

医療法人については、「平成18年度病院経営管理指標」(厚生労働省)による。経費には、委託費及び設備関係費を含む。臨時収益は特別利益欄に、臨時費用は特別損失欄に記載した。

指標	東金病院	国保大網病院	国保国吉病院	小見川総合病院	全国平均	医療法人平均
延入院患者数(人)	22,916	30,035	24,875	44,427	39,055	
延外来患者数(人)	58,126	79,164	85,098	109,423	76,509	
患者一人当たり入院収益(円)	38,371	31,983	30,829	34,648	26,242	34,900
患者一人当たり外来収益(円)	12,791	6,290	7,239	7,208	8,093	11,000
平均在院日数(日)	10.9	19.4	18.5	18.6	22.2	28.1
1日平均入院患者数(人)	63	82	68	122	107	
職員数	141	97	120	204	111	
許可病床利用率(%)	32.9	82.3	69.5	71.6	72.4	78.6
運用病床利用率(%)	67.2					
医業収支比率(%)	60.0	85.8	89.3	87.5	87.4	102.4
経常収支比率(%)	75.8	85.1	99.6	89.3	93.2	102.9
給与費比率(%)	86.2	53.8	59.2	64.3	56.3	50.9
材料費比率(%)	25.2	23.7	21.5	30.3	22.0	23.3
経費比率(%)	45.1	22.8	25.9	14.4	27.4	17.4
減価償却費比率(%)	10.0	7.7	5.3	5.0	8.1	3.6
支払利息比率(%)	1.6	4.2	0.1	1.9	3.6	1.1
職員平均年齢	42	41	42	42	42	
職員平均給与(円)	657,443	592,699	528,022	512,704	562,287	526,583
100床当たり職員数	73.8	97.0	122.4	120.0	93.2	

指標	平成19年度 決算見込み
新入院患者数(人)	1,916
延入院患者数(人)	24,471
新外来患者数(人)	7,094
延外来患者数(人)	61,462
患者一人当たり入院収益(円)	36,936
患者一人当たり外来収益(円)	12,313
平均在院日数(日)	12.6
1日平均入院患者数(人)	67
病床利用率(%)	1 35.0
医業収支比率(%)	67.7
経常収支比率(%)	84.1
給与費比率(%)	77.0
材料費比率(%)	24.6
経費比率(%)	36.4

1 許可病床数(191床)に対する利用率
運用病床利用率は、88.6%
平成19年度運用病床数平均 = 75.4床
平成19年度常勤医師数: 12人

総務省HP 自治財政局編地方公営企業年鑑(平成18年4月1日~平成19年3月31日)から主に抜粋。医療法人については、「平成18年度病院経営管理指標」(厚生労働省)から抜粋または積算

100床当たり職員数は許可病床数で算定。但し、東金病院の場合、運用病床で積算すると150.8人になる。

注3 平成18年度運用病床数平均 = 93.5床

注4 平成18年度常勤医師数: 12人

1 医業収益

<平成18年度決算>

平成18年度の医業収益について、自治財政局編地方公営企業年鑑により同規模の全国自治体病院と比較分析した。

入院患者数は、全国平均39,055人に対し、22,916人で約16,000人少なく、病床平均換算(119.6床)でも約13,000人少ない。また運用病床(93.5床)利用率67.2%でも約5ポイント少ない。
 外来患者数は、全国平均76,509人に対し、58,126人で約18,000人少ない。
 入院単価は、全国平均26,242円に対し、38,371円と約12,000円上回っている。
 外来単価は、全国平均8,093円に対し、12,791円と約5,000円上回っている。
 平成18年度は、入院・外来単価は全国平均を上回っているが、入院患者数、外来患者数とも少ない結果となっている。

<医師1人当たりからみた収益分析>

医師1人1日当たりの各科の患者数・収益について分析することとし、「平成19年全国公私病院連盟調査報告」により分析した。

なお、「整形外科(医師3名)」は、平成20年4月からいなくなり、今後の見通しについて関係してこない。ので、主な診療科としては「内科」、「小児科」、「外科」について分析することとする。

(1)入院収益

患者数

医師1人1日当たり(単位:人)				
診療科	東金病院 常勤 医師数	東金病院	全国平均 (100~199床)	差引
全体	12	5.6	7.9	2.3
うち				
内科	4	7.9	11.4	3.5
小児科	2	1.6	2.8	1.2
外科	2	6.8	6.9	0.1

常勤医1人1日当たりの患者数について、100~199床の自治体病院全国平均と比較検討したところ、「内科」と「小児科」で少なく、全体としても少ない状況になっている。

収益

医師1人1日当たり(単位:千円)				
診療科	東金病院 常勤 医師数	東金病院	全国平均	差引
全体	12	206	221	15
うち				
内科	4	240	260	20
小児科	2	52	145	93
外科	2	249	239	10

常勤医1人1日当たりの収益について、自治体病院全国平均と比較検討したところ、「小児科」が少ない。

(2)外来収益(東金病院:年間外来日数 全体・245日、内科・245日、小児科・245日、外科・196日)患者数

医師1人1日当たり(単位:人)				
診療科	東金病院 常勤 医師数	東金病院	全国平均 (100~199床)	差引
全体	12	20.9	15.7	5.2
うち				
内科	4	27.5	17.4	10.1
小児科	2	15.0	12.7	2.3
外科	2	14.3	8.4	5.9

常勤医1人1日当たりの患者数について、100~199床の自治体病院全国平均と比較検討したところ、全体及び主要な診療科において、上回っている。

収益

医師1人1日当たり(単位:千円)				
診療科	東金病院 常勤 医師数	東金病院	全国平均	差引
全体	12	258	101	157
うち				
内科	4	415	157	258
小児科	2	63	67	4
外科	2	150	83	67

常勤医1人1日当たりの収益について、自治体病院全国平均と比較検討したところ、「内科」、「外科」で上回り、特に「内科」では、大幅に上回っている。

<全体>

平成18年度決算からいうと患者数は、増やせないかという点はあるが、平成19年度医師1人1日当たりの患者数や単価では、入院、外来を合わせると、下回っているとは言えない。全体の医業収益は、医師数からみると確保されていると考える。

2 医業費用(平成18年度地方公営企業年鑑による)

医業費用に関する各種比率は、医業収益が分母となるので、医業収益が高いか低いかによって分析も変わってくる。
 医業収益については、一部増加を検討する余地はあるが、医師1人1日当たりの医業収益については、ほぼ確保されていることから、そのままの数値を使用し比較する。

(1)人件費

(給与費比率と経費比率は、直接管理か委託の状況で病院によって異なる。
 例えば、小見川病院は経費比率が少ないが、「事務」、「その他」の職員数が多く、委託ではなく直接管理で行っている業務が多いことが考えられる。)

給与水準

(賃金と法定福利費込) (単位:千円)				
	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
職員給与(合計)	1,410,252	839,506	1,611,709	992,449
給与費比率(%)	86.2	53.8	64.3	56.3
平均年齢	42	41	42	42

(単位:円)				
内訳	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
事務				
給与費	697,722	551,286	556,917	535,217
平均年齢	47	43	47	44
看護				
給与費	573,355	464,973	426,521	473,019
平均年齢	38	39	38	39
准				
給与費	645,917	650,586	462,720	532,200
平均年齢	47	52	47	50
看護				
給与費	619,830	488,368	505,906	492,701
平均年齢	41	40	41	41
その他				
給与費	567,667	371,512	389,698	399,231
平均年齢	56	31	46	46

(参考)					
医師	給与費	1,432,388	1,294,972	1,269,863	1,359,258
平均年齢	47	45	42	44	

給与費は、1ヶ月の平均給与。

全国平均及び県内他病院と比較した場合、給与費比率が20~30ポイント高くなっている。

平均年齢は、全体では同程度であるが、「その他職員」で大幅に高くなっている。
 ただし、他の県立病院との比較では、全体の平均年齢も高くなっている。

平均年齢・・・東金病院:42歳に対し高度3病院(がん・救急・こども):36歳

職員数

(単位:人・千円)				
	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
職員数	141	97	204	111
100床換算	150.8	97.0	120.0	93.2
職員1人当たりの収益	11,607	16,074	12,294	15,879.0

(参考)				
内訳	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
事務				
職員数	12	7	30	10
100床換算	12.8	7.0	17.6	8.4
職員1人当たりの収益	136,387	222,738	83,597	176,251
看護				
職員数	79	49	87	56
100床換算	84.5	49.0	51.2	47.1
職員1人当たりの収益	20,717	31,820	28,827	31,474
准				
職員数	1	10	15	9
100床換算	1.1	10.0	8.8	7.6
職員1人当たりの収益	1,636,647	155,917	167,194	195,835
医療技術				
職員数	24	12	31	20
100床換算	25.7	12.0	18.2	16.8
職員1人当たりの収益	68,194	129,931	80,900	88,126
その他				
職員数	14	7	27	6
100床換算	15.0	7.0	15.9	5.0
職員1人当たりの収益	116,903	222,738	92,886	293,753

(参考)					
医師	職員数	11	12	14	10
100床換算	11.8	12.0	8.2	8.4	
職員1人当たりの収益	148,786	129,931	179,137	176,252	

看護体制	7対1	7対1	10対1	
------	-----	-----	------	--

全国平均及び県内他病院と比較した場合、100床換算の職員数で20~50人程度多くなっている。

(2)経費

(単位:千円)				
	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
経費	737,369	356,242	361,766	482,317
経費比率(%)	45.1	22.8	14.4	27.4

(単位:千円)				
主な内訳	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
委託料	427,131	152,143	113,029	209,997
委託料比率(%)	26.1	9.8	4.5	11.9
光熱水費	46,751	37,945	31,004	28,214
光熱水費比率(%)	2.9	2.4	1.2	1.6

経費比率は、県内他病院より20ポイント以上高く、全国病院平均より約18ポイント高い。特に委託料比率においては、大網病院より16ポイント、小見川病院より21ポイント、全国病院平均より14ポイントと非常に高い状況にある。

委託料の個々の業務について、県内他病院との詳細な比較が困難であるため、県立病院のうち佐原病院(同じ地域病院)、精神科医療センター(病床数50床)との比較では、主なものとして医事業務・警備業務が高額になっている。

また、実情を分析した結果、給食業務・検査業務・オーダリングシステム保守で高額になっている。

(3)材料費

(単位:千円)				
	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
材料費	412,205	369,725	760,999	387,203
材料費比率(%)	25.2	23.7	30.3	22.0

(単位:千円)				
主な内訳	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
医療材料費等	161,933	165,381	473,972	139,140
医療材料費比率(%)	9.9	10.6	18.9	7.9
薬品費	234,204	204,344	266,673	233,409
薬品費比率(%)	14.3	13.1	10.6	13.2
投薬費	112,785	40,102	64,269	117,036
投薬費比率(%)	6.9	2.6	2.6	6.6
注射費	121,419	164,242	202,404	116,374
注射費比率(%)	7.4	10.5	8.1	6.6

材料費比率は、同等規模の大網病院及び全国病院平均と比較した場合、若干高い状況にある。

主な内訳について大網病院と比較してみると、医療材料費比率は同等であるが、約85%院外処方を行っているものの、薬品費のなかの投薬費比率が2.5倍も高い状況にある。これは、HIV、透析、糖尿病関連の薬品を年間約8,000万円購入していることが考えられる。

全国病院平均との比較では、医療材料費比率が若干高いものの、薬品費比率はほぼ同程度である。

(4)減価償却費

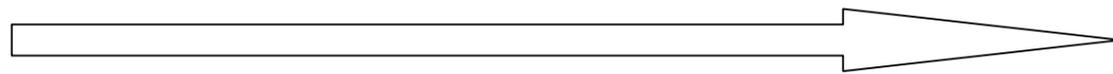
(単位:千円)				
	東金病院	国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
減価償却費	163,229	120,416	125,344	142,618
減価償却費比率(%)	10.0	7.7	5.0	8.1

減価償却費比率について、全国平均及び県内他病院と比較したところ、若干高い状況にある。

平成20年度で建物の償却が一部終わることもあり、また、大きな設備投資をしないことから、今後、減少が見込まれる。

20年度計画		
東金病院 許可病床数191床		
平成20年度 計画(税込み)		
収益的収支		
収益	医業収益	1,286,986
	入院収益	595,024
	外来収益	679,925
	その他医業収益	12,037
	医業外収益	385,647
	一般会計繰入金	375,027
	その他医業外収益	10,620
	特別利益	0
収益計	1,672,633	
費用	医業費用	2,291,775
	給与費	1,186,729
	材料費	274,378
	経費	652,073
	減価償却費	169,446
	その他医業費用	9,149
	医業外費用	91,372
	支払利息	18,143
	その他医業外費用	73,229
	特別損失	0
費用計	2,383,147	
医業収支	1,004,789	
医業収支(退職手当を除く)	829,433	
経常収支	710,514	
経常収支(退職手当を除く)	535,158	
総収支	710,514	
総収支(退職手当を除く)	535,158	
退職手当	175,356	

XX年度見通し		
東金病院 許可病床数191床		
平成XX年度 計画(税込み)		
収益的収支		
収益	医業収益	1,286,986
	入院収益	595,024
	外来収益	679,925
	その他医業収益	12,037
	医業外収益	385,647
	一般会計繰入金	375,027
	その他医業外収益	10,620
	特別利益	0
収益計	1,672,633	
費用	医業費用	2,011,164
	給与費	1,081,989
	材料費	270,978
	経費	562,073
	減価償却費	86,975
	その他医業費用	9,149
	医業外費用	91,372
	支払利息	18,143
	その他医業外費用	73,229
	特別損失	0
費用計	2,102,536	
医業収支	724,178	
医業収支(退職手当を除く)	548,822	
経常収支	429,903	
経常収支(退職手当を除く)	254,547	
総収支	429,903	
総収支(退職手当を除く)	254,547	
退職手当	175,356	



別紙のとおり改善が行えたとした場合

指標	平成20年度 計画
新入院患者数(人)	1,630
延入院患者数(人)	18,900
新外来患者数(人)	5,800
延外来患者数(人)	45,433
患者一人当たり入院収益(円)	31,483
患者一人当たり外来収益(円)	14,965
平均在院日数(人)	11.4
1日平均入院患者数(人)	52
医業収支比率(%)	56.2
純医業収支比率(%)	58.8
経常収支比率(%)	70.2
給与費比率(%)	92.2
材料費比率(%)	21.3
経費比率(%)	50.7
運用病床数	60
職員数	108
内訳	
医師	9
事務局	9
看護師	60
医療技術員	18
その他	12

指標	平成XX年度 計画
新入院患者数(人)	1,630
延入院患者数(人)	18,900
新外来患者数(人)	5,800
延外来患者数(人)	45,433
患者一人当たり入院収益(円)	31,483
患者一人当たり外来収益(円)	14,965
平均在院日数(人)	11.4
1日平均入院患者数(人)	52
医業収支比率(%)	64.0
純医業収支比率(%)	67.3
経常収支比率(%)	79.6
給与費比率(%)	84.1
材料費比率(%)	21.1
経費比率(%)	43.7

平成19年度比較して
 医師数:3人減少(整形外科)
 医業収益:約4億円減少
 結果
 経常収支比率:約14ポイント悪化

1 医業収益

(1)入院収益

患者数
平成20年度計画の1日平均患者数は52人で医師1人当たり5.8人と、まだ少ないが外来患者数が多いことから、これ以上の増加は厳しいと
考えている。

単価
平成20年度計画の単価は、平成19年度単価より低い状況であるが、整形外科がなくなったことや全国平均よりは高い状況であることから、
これ以上の単価の増加は厳しいと考えている。

(2)外来収益

患者数
平成20年度計画の医師1人1日当たり患者数は20.8人で、全国平均よりかなり高い状況であり、これ以上の増加は厳しいと
考えている。

単価
平成20年度計画の単価は全国平均よりはかなり高い状況であることから、これ以上の単価の増加は厳しいと
考えている。

<全体>
医業収益は、今後、詳細は検討するが、現状の医師数を前提とすると、これ以上の増加は厳しいと
考えている

2 費用

(1)人件費

給与水準
給与費比率が、全国平均・大網・小見川と比較して高い状況にある。
そこで、平均年齢が他の県立病院と比較して高いことから、現在の東金病院の年齢構成を仮に高度3病院(がん、救急、こども)並みにした
場合と現行との差額を算出してみた。

(単位:千円)

看護師	28,520	460千円×62人=28,520千円 平均年齢を高度3病院並みにした場合 東金36.8歳 高度33.2歳
事務職	12,330	1,370千円×9人=12,330千円 平均年齢を高度3病院並みにした場合 東金49.2歳 平均41.9歳
合計	40,850	

職員数
その他職員など定年退職者のうち不補充可能と思われる者の給与額を算出してみた。

(単位:千円)

平成20年度未退職予定者	19,100	2名
平成21年度未退職予定者	7,630	1名
平成22年度未退職予定者	28,630	3名
平成23年度未退職予定者	8,530	1名
合計	63,890	

上記について実行した場合、合計で**104,740千円**の減少額(給与費比率8.1%減)が算出できる。

(3)材料費

県内他病院との比較において、材料比率について若干高い状況であり、薬品費については共同購入による更なる削減を実施することとして
いるが、平成20年度計画では、全国平均並みの21.3%となっており、これ以上の大幅な削減は厳しいと
考えている。
ただし、診療材料費のうち全体の7.1%を占めるダイアライザーについては、価格交渉により**3,400千円**の削減(材料費比率0.2%)が見込ま
れる。

(単位:千円)

	東金病院		国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
	平成18年度 決算	平成20年度 計画			
材料費	412,205	274,378	369,725	760,999	387,203
材料費比率(%)	25.2	21.3	23.7	30.3	22.0

(4)減価償却費

平成18年度決算による、全国平均及び県内他病院との比較においては、若干高い状況であった。
建物の償却が一部終了し、大きな設備投資もしないことから、平成23年度を試算すると以下のとおり減少する。

減価償却費の減少(シミュレーション) (千円)
減少額 **82,471** (減価償却費比率6.3%減)

(単位:千円)

	東金病院				国保大網病院	小見川総合病院	全国病院平均
	平成18年度 決算	平成20年度 計画 a	平成23年度 b	減少額 a - b			
減価償却費	163,229	169,446	86,975	82,471	120,416	125,344	142,618
減価償却費比率(%)	10.0	13.2	6.9	7.7	5.0	8.1	

(2)経費

平成18年度の経費比率が、全国平均及び大網、小見川と比較してかなり高い。特に委託料が高いのだが、各病院によって直接職員が実
施しているものや、委託業務として行っているものもある。そのため、東金病院において個々の業務で改善できるものがあるかどうかを検討
してみた。
現在の運用病床から見て過大となっている設備などを運用規模に見合ったダウンサイジング及び県立佐原病院及び精神科医療センター
との比較等の結果、少なくとも以下の主な業務について、削減の可能性があると考えられるので、今後、具体的に検討することとしている。

委託料の削減(シミュレーション) (千円)
削減額合計 **90,000** (経費比率7.0%減)

削減額の内訳 (単位:千円)

業務名	削減前	削減額	削減後	備考
医事業務	56,700	20,000	36,700	患者数から勘案して精神科医療センター並み(H20年度 委託料29,005千円) 東金病院...外来患者+入院患者(21年度計画)=68,260人 精神科医療センター... 外来患者+入院患者(19年度)=55,698人
警備業務	13,400	6,000	7,400	佐原病院並み(H20年度 委託料7,589千円)
建物管理設備管理委託 及び清掃業務委託	28,430	10,000	18,430	ボイラー運転時間、清掃面積の見直し等
防虫防除・草刈	2,430	2,000	430	佐原病院並み(H20年度 委託料 368千円)
エレベーター	2,772	1,000	1,772	佐原病院並み(H20年度 委託料 2,016千円)
保育業務	8,789	1,000	7,789	佐原病院並み(H20年度 委託料 7,820千円)
給食業務	38,777	20,000	18,777	食材込契約及び食事数の見直し
検体検査院内業務及び 臨床検査業務委託	97,528	20,000	77,528	契約単価の見直し
オーダーリングシステム	24,986	10,000	14,986	契約内容の見直し
合計	273,812	90,000	183,812	

医事業務...2年契約
警備業務・建物管理業務...3年契約

平成18年度佐原病院と他病院の決算比較及び平成19年度決算見込み

18年度決算

収益的収支		佐原病院 許可病床数241床 運用病床数18年度227床 200床(1/1) 平均220床、 19年度200床 198床(10/1) 平均199床					
		241床(平均220床)	170床	166床	231床	200~299床(平均215.2)	200~299床
		佐原病院	小見川総合病院	国保多古中央病院	長生病院	全国116病院平均	医療法人
収益	医業収益	3,035,473	2,507,912	1,374,848	2,668,115	3,314,220	4,026,288
	入院収益	2,018,590	1,539,323	779,022	1,886,410	2,126,278	2,719,181
	外来収益	915,049	788,764	440,989	635,259	975,284	1,015,913
	その他医業収益	101,834	179,825	154,837	146,446	212,659	291,193
	医業外収益	603,717	224,826	129,215	356,402	495,140	72,140
	一般会計繰入金	592,605	184,155	105,496	284,272	436,057	
	その他医業外収益	11,112	40,671	23,719	72,130	59,083	72,140
特別利益	0	0	0	0	13,420	33,280	
収益計	3,639,190	2,732,738	1,504,063	3,024,517	3,822,780	4,131,708	
費用	医業費用	4,188,903	2,866,229	1,642,292	3,381,799	3,868,869	3,962,531
	給与費	2,210,892	1,611,709	1,057,251	2,072,924	1,933,756	2,107,110
	材料費	912,139	760,999	157,253	520,064	791,154	869,434
	経費	737,112	361,766	266,130	547,944	861,540	743,466
	減価償却費	323,129	125,344	157,162	225,624	264,210	165,398
	その他医業費用	5,631	6,411	4,496	15,243	18,209	115,324
	医業外費用	223,604	194,981	131,220	236,518	228,265	76,969
	支払利息	108,218	48,562	95,899	144,540	116,639	49,247
	その他医業外費用	115,386	146,419	35,321	91,978	111,626	27,722
	特別損失	0	0	0	4,775	0	51,717
費用計	4,412,507	3,061,210	1,773,512	3,623,092	4,097,134	4,091,217	
医業収支	1,153,430	358,317	267,444	713,684	554,648	63,757	
経常収支	773,317	328,472	269,449	593,800	287,773	58,929	
総収支	773,317	328,472	269,449	598,575	274,353	40,492	

19年度決算見込み

収益的収支		佐原病院
		平成19年度 決算見込(税抜き)
収益	医業収益	2,972,971
	入院収益	1,935,359
	外来収益	940,296
	その他医業収益	97,316
	医業外収益	574,091
	一般会計繰入金	563,962
	その他医業外収益	10,129
特別利益	0	
収益計	3,547,062	
費用	医業費用	4,110,222
	給与費	2,242,522
	材料費	871,316
	経費	696,247
	減価償却費	296,971
	その他医業費用	3,166
	医業外費用	200,068
	支払利息	104,477
その他医業外費用	95,591	
特別損失	0	
費用計	4,310,290	
医業収支	1,137,251	
経常収支	763,228	
総収支	763,228	

一般会計繰入金について、比較病院等には医業収益のその他医業収益に振り分けられているものがある。

注1 小見川総合病院は、看護学校の収支が、その他医業外収益、その他医業外費用に計上されている。

医療法人については、「平成18年度病院経営管理指標」による。経費には、委託費及び設備関係費を含む。臨時収益は特別利益欄に、臨時費用は特別損失欄に記載した。

指標	佐原病院	小見川総合病院	国保多古中央病院	長生病院	全国平均	医療法人
延入院患者数(人)	62,204	44,427	38,490	53,018	62,780	
延外来患者数(人)	99,614	109,423	58,345	81,911	113,946	
患者一人当たり入院収益(円)	32,451	34,648	20,240	35,581	33,774	37,800
患者一人当たり外来収益(円)	9,186	7,208	7,558	7,755	8,534	11,100
平均在院日数(日)	19.8	18.6	22.5	19.1	18.0	23.7
1日平均入院患者数(人)	170	122	105	145	172	
職員数	230	204	160	223	209	
許可病床利用率(%)	70.7	71.6	63.5	62.9	71.8	81.1
運用病床利用率(%)	77.5					
医業収支比率(%)	72.5	87.5	83.7	78.9	85.7	101.6
経常収支比率(%)	82.5	89.3	84.8	83.6	93.0	101.5
給与費比率(%)	72.8	64.3	76.9	77.7	58.3	52.3
材料費比率(%)	30.0	30.3	11.4	19.5	23.9	21.6
経費比率(%)	24.3	14.4	19.4	20.5	26.0	18.5
減価償却費比率(%)	10.6	5.0	11.4	8.5	8.0	4.1
支払利息比率(%)	3.6	1.9	7.0	5.4	3.5	1.2
職員平均年齢	43	42	40	41	40	
職員平均給与(円)	648,143	512,704	445,773	564,254	587,873	517,500
100床当たり職員数	95.4	120.0	96.4	96.5	97.3	

総務省HP 自治財政局編地方公営企業年鑑(平成18年4月1日~平成19年3月31日)から主に抜粋。医療法人については、「平成18年度病院経営管理指標」から抜粋または積算

100床当たり職員数は許可病床数で算定。但し、佐原病院の場合、運用病床で積算すると104.5人になる。

注2 平成18年度 常勤医師数 19人

指標	平成19年度 決算見込
新入院患者数(人)	2,819
延入院患者数(人)	60,846
新外来患者数(人)	15,299
延外来患者数(人)	102,017
患者一人当たり入院収益(円)	31,807
患者一人当たり外来収益(円)	9,217
平均在院日数(日)	18.9
1日平均入院患者数(人)	166
病床利用率(%)	1 69.0
医業収支比率(%)	72.3
経常収支比率(%)	82.3
給与費比率(%)	75.4
材料費比率(%)	29.3
経費比率(%)	23.4

1 許可病床数(227床)に対する利用率

運用病床利用率は、83.5%

平成19年度運用病床数平均 = 199床

平成19年度 常勤医師数 18人

1 医業収益

平成18年度決算

平成18年度の医業収益について、自治財政局編地方公営企業年鑑により同規模の全国自治体病院と比較分析した

入院患者数は、全国平均62,780人に対し、62,204人でほぼ同等であり、病床利用率もほぼ同じである。
 外来患者数は、全国平均113,946人に対し、99,614人で約14,000人少ない。
 入院単価は、全国平均33,774円に対し、32,451円とほぼ同額である。
 外来単価は、全国平均8,534円に対し、9,186円とほぼ同額である。
 平成18年度は、外来患者数が若干少ないものの、その他は、ほぼ同レベルである。

医師1人当たりからみた収益分析

医師1人1日あたりの各科の患者数・収益について分析することとし、「平成19年全国公私病院連盟調査報告」により分析した。

(1) 入院収益

患者数

医師1人1日当たり(単位:人)				
診療科	佐原病院 常勤 医師数	佐原病院	全国平均 (200~299床)	差引
全体	18	9.2	6.0	3.2
うち	内科	4	15.6	9.1
	外科	6	10.5	6.3
	整形外科	4	8.8	9.6

常勤医1人1日当たりの患者数について、200~299床の自治体病院全国平均と比較検討したところ、「整形外科」でほぼ同数の他は、上回っている。
 他の診療科の医師数:泌尿器科・眼科・歯科・麻酔科 各1名

収益

医師1人1日当たり(単位:千円)				
診療科	佐原病院 常勤 医師数	佐原病院	全国平均	差引
全体	18	279	221	58
うち	内科	4	430	170
	外科	6	368	129
	整形外科	4	289	35

常勤医1人1日当たりの収益について、自治体病院全国平均と比較検討したところ、「整形外科」でやや下回っている他は、上回っている。

(2) 外来収益

患者数

医師1人1日当たり(単位:人)				
診療科	佐原病院 常勤 医師数	佐原病院	全国平均 (200~299床)	差引
全体	18	23.1	11.3	11.8
うち	内科	4	31.0	17.7
	外科	6	9.1	6.4
	整形外科	4	26.4	16.6

常勤医1人1日当たりの患者数について、200~299床の自治体病院全国平均と比較検討したところ、全体及び主要な診療科において、上回っている。

収益

医師1人1日当たり(単位:千円)				
診療科	佐原病院 常勤 医師数	佐原病院	全国平均	差引
全体	18	213	101	112
うち	内科	4	255	98
	外科	6	102	83
	整形外科	4	184	88

常勤医1人1日当たりの収益について、自治体病院全国平均と比較検討したところ、全体及び主要な診療科において、上回っている。

全体

平成18年度決算からいうと外来患者数が増やせないかという点はあるが、医師1人1日当たりの患者数や単価を分析すると、入院・外来とも上回っている。
 外来収益の常勤医1人1日当たり収益が、全国平均を大きく上回っているが、これは、平成19年度の佐原病院では全体の1/3程度が「院内処方」になっており、そのことも影響していると見られる。

2 費用(平成18年度地方公営企業年鑑による)

医業費用に関する各種比率は、医業収益が分母となるので、医業収益が高いか低いかによって分析も変わってくる。
 医業収益についても、改善等検討しなければならないが、医師一人当たりの医業収益は確保されているので、そのままの数値を使用し比較する。

(1) 人件費

給与費比率と経費比率は、直接管理か委託の状況で病院によって異なる。
 例えば、小見川病院は経費比率が低い、逆に「事務」、「その他」の職員数が多く、委託ではなく直接管理で行っている業務が多いといえる。

給与水準

(賃金と法定福利費込) (単位:千円)				
	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
職員給与(合計)	2,210,892	1,611,709	2,072,924	1,933,756
給与費比率(%)	72.8	64.3	77.7	58.3
平均年齢	43	42	41	40

(単位:円)				
内訳	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
事務				
給与費	650,389	556,917	481,115	577,128
平均年齢	49	47	43	44
看護				
給与費	578,302	426,521	502,253	486,026
平均年齢	41	38	39	37
准看護				
給与費	650,635	462,720	553,097	563,679
平均年齢	49	47	48	50
その他				
給与費	621,757	505,906	477,252	544,766
平均年齢	44	41	38	41
その他				
給与費	445,250	278,250	316,568	471,313
平均年齢	56	46	50	46

(参考)				
医師	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
給与費	1,326,045	1,269,863	1,274,710	1,253,265
平均年齢	43	42	42	43

給与費は、1ヶ月の平均給与

全国平均との比較で、給与費比率が約15ポイント高くなっている。
 対県内他病院では、小見川より8ポイント高いが、長生よりは5ポイント低い状況にある。
 平均年齢は高くなっている。

他の県立病院との比較でも、全体の平均年齢が高くなっている。
平均年齢・・・佐原病院・43歳に対し高度3病院(がん・救急・こども)・36歳

職員数

(単位:人・千円)				
	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
職員数	230	204	223	209
100床換算	104.5	120.0	96.5	97.3
職員1人あたりの収益	13,198	12,294	11,965	15,858

(参考)				
内訳	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
事務				
職員数	11	30	26	16
100床換算	5.0	17.6	11.3	7.4
職員1人あたりの収益	275,952	83,597	102,620	207,139
看護				
職員数	146	87	102	120
100床換算	66.4	51.2	44.2	55.6
職員1人あたりの収益	20,791	28,827	26,158	27,619
准看護				
職員数	8	15	16	9
100床換算	3.6	8.8	6.9	4.2
職員1人あたりの収益	379,434	167,194	166,757	368,247
技術員				
職員数	36	31	35	33
100床換算	16.3	18.2	15.2	15.1
職員1人あたりの収益	84,319	80,900	76,232	100,431
その他				
職員数	10	27	22	9
100床換算	4.5	15.9	9.5	4.4
職員1人あたりの収益	303,547	92,886	121,278	368,247

(参考)				
医師	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
職員数	19	12	22	23
100床換算	8.6	8.2	10.0	10.5
職員1人あたりの収益	159,761	208,993	121,278	144,097

(参考)				
看護体制	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
	10対1	10対1	7対1	

職員数は、全国病院平均とほぼ同程度といえる。

(2) 経費

(単位:千円)				
	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
経費	737,112	361,766	547,944	861,540
経費比率(%)	24.3	14.4	20.5	26.0

(単位:千円)				
主な内訳	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
委託料	321,436	113,029	308,107	344,024
委託料比率(%)	10.6	4.5	11.5	10.4
光熱水費	68,321	31,004	54,875	63,679
光熱水費比率(%)	2.3	1.2	2.1	1.9

経費比率を全国平均と県内他病院と比較検討したところ、全国平均より若干低いが、県内他病院との比較では5~10ポイント高い。
 特に委託料比率を小見川と比較した場合、2倍以上高い状況にある。
 (委託料については、施設によって直接職員が実施しているものや、委託業務として行っているものもあり、単純な比較は難しい面はあるが、個々の業務について分析してみる必要がある)

(3) 材料費

(単位:千円)				
	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
材料費	912,139	760,999	520,064	791,154
材料費比率(%)	30.0	30.3	19.5	23.9

(単位:千円)				
主な内訳	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
医療材料費	364,675	473,972	272,387	365,189
医療材料費比率(%)	12.0	18.9	10.2	11.0
薬品費	516,407	266,673	247,677	399,126
薬品費比率(%)	17.0	10.6	9.3	12.0
投薬費	223,240	64,269	36,888	145,708
投薬費比率(%)	7.4	2.6	1.4	4.4
注射費	293,167	202,404	210,789	253,418
注射費比率(%)	9.7	8.1	7.9	7.6

材料費比率を全国平均と比較したところ、6ポイント高い。
 県内他病院である小見川とは同等だが長生とでは10ポイント高い。
 主な内訳について比較してみると、医療材料費比率は同等、または低い状況にある。
 しかし、薬品費のなかの投薬費比率が約3ポイントほど高い状況にある。
 これは、院内処方の割合が高いためと考えられる。

(4) 減価償却費

(単位:千円)				
	佐原病院	小見川総合病院	公立長生病院	全国病院平均
減価償却費	323,129	125,344	225,624	264,210
減価償却費比率(%)	10.6	5.0	8.5	8.0

減価償却費比率について、全国平均及び県内他病院と比較したところ、若干高い状況にある。
 今後も施設維持や、診療機能維持のための設備投資が必要であるため、短期的には大幅な減少を見込むことはできない。

20年度計画

収益的収支		佐原病院 許可病床数241床
		平成20年度 計画(税込み)
収益	医業収益	3,161,275
	入院収益	2,082,977
	外来収益	971,101
	その他医業収益	107,197
	医業外収益	581,423
	一般会計繰入金	571,997
	その他医業外収益	9,426
	特別利益	0
収益計	3,742,698	
費用	医業費用	4,263,896
	給与費	2,290,343
	材料費	919,330
	経費	765,856
	減価償却費	280,441
	その他医業費用	7,926
	医業外費用	205,827
	支払利息	99,334
	その他医業外費用	106,493
	特別損失	0
	費用計	4,469,723
医業収益	1,102,621	
医業収支(退職手当を除く)	984,135	
経常収支	727,025	
経常収支(退職手当を除く)	608,539	
総収支	727,025	
総収支(退職手当を除く)	608,539	
退職手当	118,486	

指標	平成20年度 計画
	新入院患者数(人)
延入院患者数(人)	62,720
新外来患者数(人)	16,129
延外来患者数(人)	103,393
患者一人当たり入院収益(円)	33,211
患者一人当たり外来収益(円)	9,392
平均在院日数(人)	18.5
1日平均入院患者数(人)	172
医業収支比率(%)	74.1
純医業収支比率(%)	72.9
経常収支比率(%)	83.7
給与費比率(%)	72.4
材料費比率(%)	29.1
経費比率(%)	24.2

職員数		230
内訳	医師	20
	事務局	12
	看護師	142
	医療技術員	37
	その他	8

別紙のとおり改善が行えたとした場合

XX年度見通し

収益的収支		佐原病院 許可病床数241床
		平成XX年度
収益	医業収益	3,183,993
	入院収益	2,305,695
	外来収益	771,101
	その他医業収益	107,197
	医業外収益	581,423
	一般会計繰入金	571,997
	その他医業外収益	9,426
	特別利益	0
収益計	3,765,416	
費用	医業費用	3,716,994
	給与費	2,006,203
	材料費	719,330
	経費	703,094
	減価償却費	280,441
	その他医業費用	7,926
	医業外費用	205,827
	支払利息	99,334
	その他医業外費用	106,493
	特別損失	0
	費用計	3,922,821
医業収益	533,001	
医業収支(退職手当を除く)	414,515	
経常収支	157,405	
経常収支(退職手当を除く)	38,919	
総収支	157,405	
総収支(退職手当を除く)	38,919	
退職手当	118,486	

指標	平成XX年度 計画
	新入院患者数(人)
延入院患者数(人)	62,720
新外来患者数(人)	16,129
延外来患者数(人)	103,393
患者一人当たり入院収益(円)	36,761
患者一人当たり外来収益(円)	7,457
平均在院日数(人)	18.5
1日平均入院患者数(人)	172
医業収支比率(%)	85.7
純医業収支比率(%)	83.9
経常収支比率(%)	96.0
給与費比率(%)	63.0
材料費比率(%)	22.6
経費比率(%)	22.1

1 医業収益

(1)入院収益

患者数
医師1人当たり患者数が、同規模の全国平均病院における入院患者数を上回っていることから、増加は見込めない。

単価
「入院基本料7:1」基準の取得により、2,550円/人・日の単価アップが見込める。また、現在DPC準備病院となっており、「DPC」の算定対象病院への移行を予定している。
DPCの調整係数等の今後の取扱は流動的だが、仮に、調整係数と機能係数を合わせて「1.09」とすると、**約2億2,200万円**増収となり、一人当たり入院単価は、33,211円から、36,761円になる見込みである。

(2)外来収益

患者数
医師一人当たりの患者数が、同規模病院の全国平均の外来患者数を上回っており、大幅な増加は見込めない。

単価
院内処方による影響もあるが、医師一人当たりの単価が、同規模病院の全国平均の外来平均単価を上回っており、大幅な増加は見込めない。
なお、平成20年4月から院外処方への100%移行を図ったことにより、外来収益で約2億円の減収となり、併せて材料費も約2億円減額となることが見込まれる。
一人当たり平均外来単価は、9,392円から7,457円になる見込みである。

2 費用

(1)人件費

給与水準
給与費比率が、全国平均・小見川・長生と比較して高い状況にある。
そこで、平均年齢が他の県立病院と比較して高いことから、現在の佐原病院の年齢構成を仮に高度3病院(がん、救急、こども)並みにした場合と現行との差額を算出してみた。

(単位:千円)

医療技術職	29,440	920千円×32人=29,440千円 平均年齢を高度3病院並みにした場合 佐原44.4歳 高度39.5歳
看護師	222,010	1,490千円×149人=222,010千円 平均年齢を高度3病院並みにした場合 佐原42.2歳 高度33.2歳
事務職	7,800	780千円×10人=7,800千円 平均年齢を高度3病院並みにした場合 佐原49.2歳 高度41.9歳
合計	259,250	

職員数
その他職員など定年退職者のうち不補充可能と思われる者の給与額を算出してみた。

(単位:千円)

平成21年度未退職予定者	16,090	2名
平成22年度未退職予定者	8,800	1名
合計	24,890	

上記について実行した場合、合計で**284,140千円**の減少額(給与費比率9.4%減)が算出できる。

(2)経費

平成18年度の経費比率は、全国平均より低い、県内他病院との比較では高い。
病院によって、業務委託への移行状況等に差異があるため、単純比較できない面はあるが、可能な限りの見直しを図る必要があることから、各業務の実情分析等の結果、以下のとおり削減できると考えられる。(経費比率2.1%減)

削減額の内訳

(単位:千円)

業務名	削減前	削減額	削減後	備考
医事業務	110,724	38,689	72,035	業務の見直しを行う
建物管理設備管理委託	12,293	5,173	7,120	公用車の運転業務、ボイラー士業務見直し
給食業務	53,944	3,032	50,912	業務の作業工程の見直し
臨床検査業務委託	26,588	4,788	21,800	契約単価の見直し
保守点検の見直し	16,798	9,106	7,692	フルメンテからオンコールへ変更
医療系産業廃棄物	12,000	1,974	10,026	産業廃棄物の減量化
合計	232,347	62,762	169,585	

医事業務・・・2年契約
警備業務・建物管理業務・・・3年契約

(3)材料費

平成18年度決算による、材料比率について、小見川とはほぼ同様であり、全国病院平均・長生よりは高い状況である。
薬品費のうち投薬費比率が高いことが要因となっているが、院外処方への完全移行により、**約2億円の減額**(材料費比率6.5%)が見込まれる。

(単位:千円)

	佐原病院		小見川総合病院	長生病院	全国病院平均
	平成18年度 決算	平成20年度 計画			
材料費	912,139	919,330	760,999	520,064	387,203
材料費比率(%)	30.0	29.1	30.3	19.5	22.0

(4)減価償却費

前述分析にも記載したとおり、全国平均及び県内他病院と比較して、若干高い状況にあるが、今後においても、一定の患者数の増加を見込んでおり、診療機能の維持のための設備投資が必要なため、削減は困難である。

(単位:千円)

	佐原病院				小見川総合病院	長生病院	全国病院平均
	平成18年度 決算	平成20年度 計画 a	平成XX年度 b	削減額 a - b			
減価償却費	323,129	280,441	280,441	0	125,344	225,624	142,618
減価償却費比率(%)	10.6	8.9	8.9		5.0	8.5	8.1

18年度決算

収益的収支		循環器病センター220床				
		220床 循環器病 センター	319床 埼玉県 循環器・呼吸器病 センター	239床 神奈川県 循環器呼吸器病 センター	200~299床(平均215.2) 全国116病院平均 (一般病院を含む)	200~299床 全国25医療法人 平均
収益	医業収益	5,350,166	8,778,115	4,503,306	3,314,220	4,026,288
	入院収益	4,387,731	6,447,385	2,836,141	2,126,278	2,719,181
	外来収益	870,263	2,160,121	1,126,239	975,284	1,015,913
	その他医業収益	92,172	170,609	540,926	212,659	291,193
	医業外収益	1,396,745	1,691,065	1,408,504	495,140	72,140
	一般会計繰入金	1,343,332	1,653,240	1,378,321	436,057	
	その他医業外収益	53,413	37,825	30,183	59,083	72,140
	特別利益	0	0	0	13,420	33,280
収益計	6,746,911	10,469,180	5,911,810	3,822,780	4,131,708	
費用	医業費用	6,944,221	10,007,194	5,563,373	3,868,869	3,962,531
	給与費	3,168,361	3,852,189	2,814,493	1,933,756	2,107,110
	材料費	1,820,359	3,940,237	1,210,428	791,154	869,434
	経費	1,147,014	1,254,637	1,088,613	861,540	743,466
	減価償却費	783,169	889,235	402,153	264,210	165,398
	その他医業費用	25,318	70,896	47,686	18,209	115,324
	医業外費用	559,407	653,096	346,271	228,265	76,969
	支払利息	325,019	293,090	227,414	116,639	49,247
	その他医業外費用	234,388	360,006	118,857	111,626	27,722
	特別損失	0	0	0	0	51,717
費用計	7,503,628	10,660,290	5,909,644	4,097,134	4,091,217	
医業収支	1,594,055	1,229,079	1,060,067	554,648	63,757	
経常収支	756,717	191,110	2,166	287,773	58,929	
総収支	756,717	191,110	2,166	274,353	40,492	

19年度決算見込み

収益的収支		循環器病センター
		平成19年度 決算見込(税抜き)
収益	医業収益	5,298,048
	入院収益	4,445,702
	外来収益	762,440
	その他医業収益	89,906
	医業外収益	1,379,827
	一般会計繰入金	1,347,784
	その他医業外収益	32,043
	特別利益	0
収益計	6,677,875	
費用	医業費用	6,847,969
	給与費	3,234,098
	材料費	1,719,732
	経費	1,046,396
	減価償却費	801,192
	その他医業費用	46,551
	医業外費用	505,035
	支払利息	315,313
その他医業外費用	189,722	
特別損失	0	
費用計	7,353,004	
医業収支	1,549,921	
経常収支	675,129	
総収支	675,129	

一般会計繰入金について、比較病院等には医業収益のその他医業収益に振り分けられているものがある。

医療法人については、「平成18年度病院経営管理指標」(厚生労働省)による。経費には、委託費及び設備関係費を含む。臨時収益は特別利益欄に、臨時費用は特別損失欄に記載した。

指標	循環器病センター	埼玉県 循環器・呼吸器病 センター	神奈川県 循環器呼吸器病 センター	全国平均	医療法人
延入院患者数(人)	65,099	97,090	70,445	62,780	
延外来患者数(人)	118,817	97,284	86,788	113,946	
患者一人当たり入院収益(円)	67,401	66,406	40,260	33,774	37,800
患者一人当たり外来収益(円)	7,324	22,204	12,977	8,534	11,100
平均在院日数(日)	14.6	14.5	15.7	18.0	23.7
1日平均入院患者数(人)	178	266	193	172	
職員数	345	428	264		
病床数	220	319	239		81.1
病床利用率(%)	81.1	83.4	80.8	71.8	
医業収支比率(%)	77.0	87.7	80.9	85.7	101.6
経常収支比率(%)	89.9	98.2	100.0	93.0	101.5
給与費比率(%)	59.2	43.9	62.5	58.3	52.3
材料費比率(%)	34.0	44.9	26.9	23.9	21.6
経費比率(%)	21.4	14.3	24.2	26.0	18.5
減価償却費比率(%)	14.6	10.1	8.9	8.0	4.1
支払利息比率(%)	6.1	3.3	5.0	3.5	1.2
職員平均年齢	38	37	39	40	
職員平均給与(円)	628,646	604,633	670,851	587,873	517,500
100床当たり職員数	161.5	134.2	110.7	103.1	

指標	平成19年度 決算見込
新入院患者数(人)	4,235
延入院患者数(人)	65,108
新外来患者数(人)	10,104
延外来患者数(人)	98,672
患者一人当たり入院収益(円)	68,282
患者一人当たり外来収益(円)	7,727
平均在院日数(日)	15.4
1日平均入院患者数(人)	178
病床利用率(%)	80.9
医業収支比率(%)	77.4
経常収支比率(%)	90.8
給与費比率(%)	61.0
材料費比率(%)	32.5
経費比率(%)	19.8

平成19年度常勤医師数:46人

総務省HP 自治財政局編地方公営企業年鑑(平成18年4月1日~平成19年3月31日)から主に抜粋。医療法人については、「平成18年度病院経営管理指標」(厚生労働省)から抜粋または積算

平成18年度常勤医師数:50人

収支分析にあたっては、平成18年度地方公営企業年間に掲載されているデータを基に類似病院と比較した。 埼玉県 = 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 神奈川県 = 神奈川県立循環器呼吸器病センター

1 医業収益

(1)入院収益
 入院収益は、病床利用率は81.1%で、埼玉県(83.4%)、神奈川県(80.8%)とほぼ同程度であり、患者一人当たり収益(単価)は67千円で、埼玉県(66千円)、神奈川県(40千円)を上回っている。

(2)外来収益
 外来収益は、患者数は多いが、単価は7千円で、埼玉県(22千円)、神奈川県(13千円)に比べてかなり低い。平成19年度の診療科別外来単価を「平成19年全国公私病院連盟調査報告」により分析すると、全国平均と比べ、小児科、脳神経外科は高く、循環器科、神経内科、外科、心臓血管外科などが低い。

2 費用

(1)人件費
 循環器病センターの給与費比率は59.2%で、神奈川県(62.5%)より低い、埼玉県(43.9%)よりは高い。

ア 給与水準
 職員平均年齢は38歳で、類似病院、県立高度3病院(36歳)と比べても高いとは言えない。

イ 職員数
 100床当たり職員数は161.5人で、類似病院に比べて多いが、これは診療内容及び看護体制の違いによるものと考えられる。埼玉県及び神奈川県は、結核病床がそれぞれ51床、60床あり、神奈川県はICUが6床と少ない。また、循環器病センターは看護体制が19年1月から7:1となったが、埼玉県、神奈川県とも10:1である。医師数については、診療内容が異なるため、単純に比較はできないが、循環器病センターは、診療科が多いため、100床当たりの医師数が多いと考えられ、今後、詳細な分析をしたい。

		循環器病センター	埼玉県	神奈川県
病床数		220床(うちICU・CCU・SCU20床)	319床(うち結核51床、ICU・CCU22床)	239床(うち結核60床、ICU6床)
100床当たり 職員数(人)	医師	22.7	14.7	13.8
	看護	105.6	85.9	69.5
	事務	9.9	10	8.5
	薬剤・放射線・検査	16.8	15.9	13
	その他	6.5	7.5	5.8
	全職員	161.5	134.2	110.7
看護体制		7:1(19年1月～)	10:1(19.5～7:1)	10:1

埼玉県は19年5月から7:1看護体制移行に伴い、看護師を増員しており、結核病床51床(配置看護師15名)を除いて積算すると、100床当たり看護師数は102.6人となる。

(2)材料費・経費
 材料費比率及び経費比率の合計は55.4%で、埼玉県(59.2%)、神奈川県(51.1%)と比べても高いとは言えない。

(3)減価償却費
 減価償却費比率は14.6%で、埼玉県(10.1%)、神奈川県(8.9%)に比べて高い。減価償却費比率を引き上げている要因は、他の県立病院と比べて㎡当たりの建設単価が69万円と非常に高く、また建設費の一般会計負担(一般財源充当)がなかったため、多額の建物減価償却費(5億24百万円)が発生していることによるものである。

(4)支払利息
 支払利息比率は6.1%で、埼玉県(3.3%)、神奈川県(5.0%)に比べて高い。支払利息比率を引き上げている要因は、減価償却費と同様に、建設単価が69万円と非常に高く、本館建設費146億円に一般会計の充当が無く全額企業債でまかされたことから、多額の支払利息(18年度:2億84百万円)が発生していることによるものである。

3 一般会計繰入金

総収益対する一般会計繰入金の率は19.9%で、埼玉県(15.8%)よりは高いものの、神奈川県(29.7%)と比べると低い。

平成20年度計画

収益的収支		循環器病センター 許可病床数220床
		平成20年度 計画(税込み)
収益	医業収益	5,246,042
	入院収益	4,388,672
	外来収益	765,881
	その他医業収益	91,489
	医業外収益	1,425,409
	一般会計繰入金	1,393,912
	その他医業外収益	31,497
	特別利益	0
収益	計	6,671,451
費用	医業費用	7,067,480
	給与費	3,350,141
	材料費	1,653,553
	経費	1,128,320
	減価償却費	911,686
	その他医業費用	23,780
	医業外費用	506,507
	支払利息	302,772
	その他医業外費用	203,735
		特別損失
費用	計	7,573,987
医業収支		1,821,438
医業収支(退職手当を除く)		1,621,646
経常収支		902,536
経常収支(退職手当を除く)		702,744
総収支		902,536
総収支(退職手当を除く)		702,744
退職手当		199,792

指標	平成20年度 計画
新入院患者数(人)	4,145
延入院患者数(人)	63,000
新外来患者数(人)	9,608
延外来患者数(人)	98,223
患者一人当たり入院収益(円)	69,661
患者一人当たり外来収益(円)	7,797
平均在院日数(人)	15.2
1日平均入院患者数(人)	173
医業収支比率(%)	74.2
純医業収支比率(%)	71.6
経常収支比率(%)	88.1
給与費比率(%)	63.9
材料費比率(%)	31.5
経費比率(%)	21.5
減価償却費比率(%)	17.4
支払利息比率(%)	5.8

医業収益:511百万円増
入院収益は、決算比較分析資料のとおり、これ以上増加させることは難しい。
外来収益は、患者一人当たり単価を神奈川県並みの13千円にした場合、収益が5億11百万円増加する。
今後、詳細分析と方策の検討を進める。

給与費
給与費については、決算比較分析資料のとおりなので、今回は減少を想定していない。

材料費・経費:271百万円増
材料費及び経費は、外来収益の増加に伴い、2億71百万円増加する。

県こども病院並みの建設費
単価とした場合
建設時の単価
こども病院:35万円/㎡ 循環器病センター:69万円/㎡

減価償却費:257百万円減
建設単価を県こども病院と同額とした場合、2億57百万円減少する。

支払利息:129百万円減
減価償却費と同様に、建設単価を県こども病院と同額とした場合、1億29百万円減少する。

一般会計繰入金:114百万円増
高度医療と地域医療の診療比率は8:2であるが、一般会計繰入金の算定は6:4でなされており、繰入金が過少に積算されている。
仮に繰入金の算定が8:2に見直しされれば、繰入金は2億円程度増加する。
ただし、支払利息が減少することにより、繰入金が86百万円減少することから、実質的には1億14百万円増加する。

平成XX年度算出

収益的収支		循環器病センター 許可病床数220床
		平成XX年度 計画(税込み)
収益	医業収益	5,757,042
	入院収益	4,388,672
	外来収益	1,276,881
	その他医業収益	91,489
	医業外収益	1,539,409
	一般会計繰入金	1,507,912
	その他医業外収益	31,497
	特別利益	0
収益	計	7,296,451
費用	医業費用	7,081,909
	給与費	3,350,141
	材料費	1,814,506
	経費	1,238,796
	減価償却費	654,686
	その他医業費用	23,780
	医業外費用	391,078
	支払利息	173,772
	その他医業外費用	217,306
		特別損失
費用	計	7,472,987
医業収支		1,324,867
医業収支(退職手当を除く)		1,125,075
経常収支		176,536
経常収支(退職手当を除く)		23,256
総収支		176,536
総収支(退職手当を除く)		23,256
退職手当		199,792

指標	平成XX年度 計画
新入院患者数(人)	4,145
延入院患者数(人)	63,000
新外来患者数(人)	9,608
延外来患者数(人)	98,223
患者一人当たり入院収益(円)	69,661
患者一人当たり外来収益(円)	13,000
平均在院日数(人)	15.1
1日平均入院患者数(人)	173
医業収支比率(%)	81.3
純医業収支比率(%)	79.6
経常収支比率(%)	97.6
給与費比率(%)	58.2
材料費比率(%)	31.5
経費比率(%)	21.5
減価償却費比率(%)	11.4
支払利息比率(%)	3.0